

D 簡便な情報ツールの作成と活用

E-3 Web サイト

1 フォント（書体）は UNICODE 対応のものを

- Web ページを見る側の環境は多様で、フォントの問題から文字が適正に表示されず、情報内容が分からない状況が発生します。タイトルなど文字量が少ない場合は画像処理すれば解消しますが、基本的には UNICODE（世界の文字を混在させるための標準的文字コード）対応のフォントを使用します。

2 レイアウトや記号の使い方は、国によって異なる

- レイアウトや記号の使い方などは、国や言語によって「好み」や「分かりやすさ」の傾向があります。レイアウトやデザイン、記号の使い方などをネイティブチェックしてもらいます。

【例】日本政府観光局（JNTO）の web は、国ごとにレイアウトや内容を変えている。



繁体版（香港、台湾向け）
ドライブ旅行者向けの写真を掲載



簡体版（中国向け）
全体的にめでたい色の「赤」を多用



ハングル版（韓国向け）
写真より文字情報を優先

3 変わる可能性、間違いがある可能性については断りを

- 金額や時間、数値など変更の可能性がある情報の場合は、必ず「〇〇現在の情報です。変わる可能性があります」と注記します。
- 自動翻訳を用いたりすると、誤訳が生じます。誤訳によって生じる不利益・損害についての責任は負えない旨を記載します。

4 写真や文字では伝えにくいことは、動画を活用する

- イベントの内容、四季折々の景観など、文字や写真（静止画像）では伝えにくい内容などは、動画を掲載する（動画を見ることができるサイトを紹介する）などの工夫をします。

5 できるだけ、多くの人にアクセスしてもらえよう工夫を

- 観光庁や日本政府観光局（JNTO）、都道府県や市町村、民間事業者等の観光情報ウェブサイト、日本への観光が多い国や地域の主要なウェブサイトとリンクさせるようにします。
- 近年は個人のブログから“おすすめ情報”を探して行き先を決める外国人も増えています。地域在住の外国人のブログを掲載するなど、外国人旅行者に関心を持ってもらう工夫が必要です。